

令和2年度 保護者アンケート結果報告 (総回答件数217件)

全校 項目	評価観点 ※白抜き文字は目標値を超えた項目。太字は目標値を超えず差が大きい項目。	評価 (%)			
		そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
【元気な子】	問1 お子さんは、「はちなつぼ」等に留意するなど、基本的な生活習慣を身につけている	33	52	14	0
	問2 お子さんは、外で遊ぶなど、進んで体を動かしている	41	48	9	1
	問3 学校は、心身ともにバランスよく成長する子を育てようとしている	42	52	6	0
【思いやりのある子】	問4 お子さんは、元気のよいあいさつや返事をしている	28	63	8	1
	問5 お子さんは、約束や決まりを守っている	31	59	10	1
	問13 学校は、相手を尊重し協力できる子を育てようとしている	28	62	9	0
【進んで学ぶ子】	問7 ↑ お子さんは、学校での学習を楽しみにしている	38	56	6	0
	問8 ↑ お子さんは、学習の習慣が身につく、学習内容がわかっている	33	59	8	0
	問9 学校は、基礎学力や思考力を基に、自ら解決しようとする子を育てようとしている	24	65	11	0
【安心・安全で信頼される学校】	問10 お子さんは、交通事故やけがなど、自らの安全に気をつけて生活している	39	54	7	0
	問11 お子さんは、学級・学年の活動や異学年交流の活動等を通して、望ましい人間関係を築こうとしている	30	60	10	0
	問12 学校では、子どもたちの「ひびく歌声」を聞くことができる	7	55	38	0
	問13 学校は、保護者が気軽に相談できるようにし、誠意をもって接している	35	56	8	0
	問14 学校は、PTAや地域ボランティアと連携・協力した活動を進めている	39	54	7	0
	問15 学校は、児童の安全を確保する取組を進めている	41	54	5	0
	問16 学校は、清掃が行き届き、安全な学習環境をつくらうとしている	24	63	12	1
	問17 学校は、たよりやホームページ等で、学校の様子を保護者に伝えている	39	55	7	0

＜アンケート集計結果について＞

○数字は問の番号 ◆は今後の課題

【元気な子】

①「基本的な生活習慣を身につけていると思う・やや思う」との回答は85%で昨年度並みであるが「そう思う」割合は減った。

②「進んで体を動かしていると思う」との回答は41%と昨年度比9P減った。コロナ禍での活動自粛の影響があったと推測される。

③「元気な子」に向けた学校の意図は、コロナ禍でも理解を得られていると思われる。

◆質問①と②では「思う・やや思う」と回答する割合が昨年度と同じく高い。一方、「思わない等」との回答も10%以上あることから、体を存分に動かせる、体育学習の工夫が必要である。また、引き続き、むし歯予防や新型コロナ等の感染症への対処、けがや事故の予防、災害からの身の守り方などの学習を継続し、6年間を見通した健康・安全教育を進めていく。

【思いやりのある子】

④「あいさつや返事をしていると思う・やや思う」との回答は84%と昨年度から9P増えた。「あまり思わない・思わない」との回答も以前と多い。

⑤引き続き規範意識が高い児童が多い傾向がうかがえる。

⑥「思いやりのある子」に向けた学校の意図は概ね理解を得られていると思われる。

◆あいさつと返事は、他者を尊重する行為の一つで、社会生活を営む上で大切との認識のもとコロナ禍であっても、変わらず各学級で指導している。習慣化し地域等でもさわやかに挨拶できる児童に育てるため、引き続き指導方法や主体的取組の改善を図っていく。高い規範意識は、家庭や地域での教育があってこそその結果と考えている。学校では、教員を含めて、改めて時刻を守ること、節度ある言動をとることを通じて、きまりを守る意識の維持を図っていく。

【進んで学ぶ子】

⑦「学習を楽しみにしていると思う・やや思う」との回答は94%で5P増えた。⑧「学習内容がわかっていると思う・やや思う」との回答は92%で昨年度より10P増

加した。⑦⑧とも「あまり思わない・思わない」との回答は8%程度と昨年より3Pほど減っていた。

⑨「進んで学ぶ子」を育てるための学校の意図は概ね理解を得られているものの、全ての子供の可能性を引き出し切れはしていないということも推察される。

◆知識や技能が身についたことを実感できていない児童が一定数いることが推察できる。各教科等の時間で、基礎・基本の内容を繰り返す方法を更に工夫する。また、引き続き、教育活動の全体の中で、言葉や語句、文章を理解するための話し合い活動を充実させ、学習の成果や効果を実感できる児童を増やしていきたい。

【安心・安全で信頼される学校】

⑩⑪⑫「安全に気をつけていると思う・やや思う」との回答は94%と昨年度同様高い値である。また、児童の安全を確保する学校の取組についても95%と評価が高かった。

清潔で安全な学習環境の整備については87%と昨年度同様であった。

⑬「響く歌声については「思う・やや思う」との回答が62%と昨年度より32Pと激減した。コロナ禍の歌や演奏の制限が大きく影響していると思われる。

⑭⑮保護者や地域との連携協力と、学校との連絡・相談については、概ね学校の取組に理解を得られていると思われる。コロナ禍でもPTAの協体制が機能していた。

⑯情報公開と説明責任については、一定の理解は得られていると思われる。引き続き、各教育活動の目的や意図を適宜伝えるように努める。

◆コロナ禍であっても、PTAと連携した見守り活動や安全教育の改善を図ってきたことで、交通安全・生活安全・災害安全に対する意識の向上がうかがえた。

◆今後もコロナ禍で様々な規制があると考えられるが、PTA活動や懇談会・保護者面談、日常の連絡・相談の場面等を通じて、保護者との良好な関係を築いていく。

◆よりよい響きを求め、子供たちの心が育っていくように、子供と教員で共に創る音楽に向けて、今後も音楽的な取組を改善していきたい。

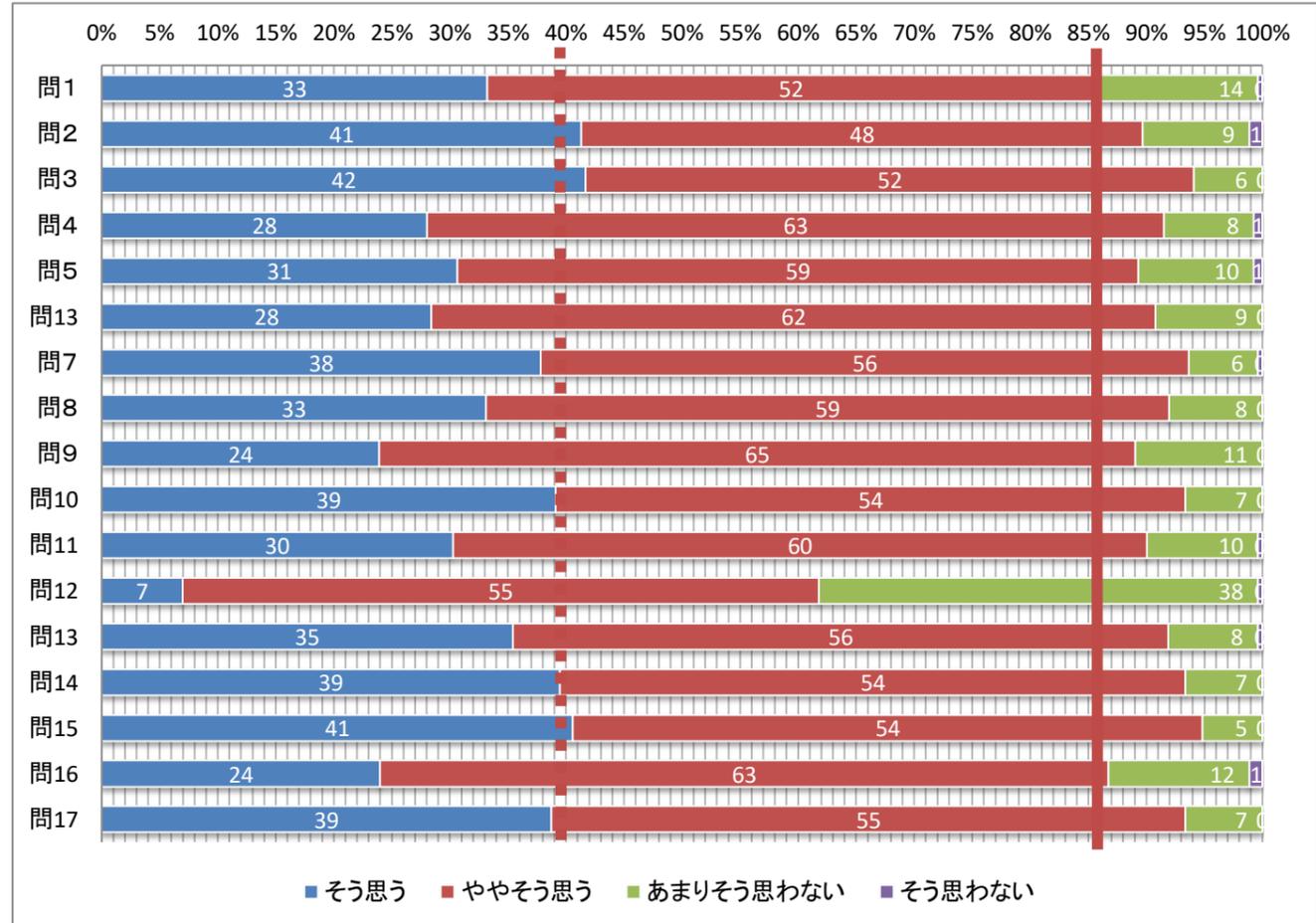
◆学習環境については、引き続き、清掃方法の見直しを進める。

◆緊急時の情報公開・伝達の方法について継続しながら改善を図る。

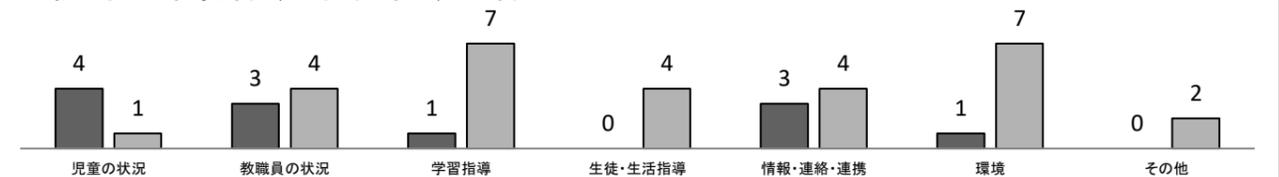
【アンケート集計結果】

※「縦線」は到達指標

(目標は「そう思う・ややそう思う」を合わせた回答が85%以上かつ「そう思う」が「ややそう思う」を上回ること)



意見等の集約件数(総回答数41件) ■成果(意見・要望等) □課題(意見・要望等)



＜児童の状況＞ ・学校に行くのが楽しい ・自分から早起きしている ・学びの場と意識している	＜教職員の状況＞ ・友達関係について丁寧な指導 ・明るい雰囲気 ・教員からの挨拶 ・コロナ禍での対応 (生活・安全・学習)	＜学習指導＞ ・新しい生活習慣への対応 ・子供たちの意識の高まり	＜生徒指導＞ (維持)	＜情報連絡等＞ ・学校と地域の見守り・安心 ・意見等への柔軟な対処 ・気軽に相談
＜児童の状況＞ ・学習習慣の未定着 ・学習活動の規制 ・グループ学習、校外学習の制限 ・音楽の表現の制限	＜教職員の状況＞ ・適切な言葉遣い ・子供の模範として言動 ・特別支援教育等への理解促進	＜学習指導＞ ・わかりやすい授業に実現 ・文章の書き方指導の充実 ・学習習慣定着方法の提示 ・習特との交流の制限	＜生徒指導＞ ・子供と教員が気軽に相談できる環境整備 ・子供同士のコミュニケーション	＜情報連絡等＞ ・行事等予定の早期連絡 ・問題点や課題を含め、必要なことを適切に共有 ・授業参観等の工夫 ・タブレット学習の整備・推進
裏面に「感想・意見・要望」等と学校からのコメントを掲載				
＜環境＞ ・エアコンの設置(情緒2・特別教室) ・手洗い場石鹸のポンプ式検討 ・清掃用具の充実	＜その他＞ ・植栽や落葉・雑草等の手入れ ・校庭等の整備活動への全児童・PTAの関与	＜その他＞ ・PTA活動への参加促進に向けた取組 ・PTA活動経費の見直し	＜その他＞ (維持)	＜その他＞ (維持)

成果(意見・要望・感想等)

【子供の状況について】

○昨年4月から学校に登校できず、大変なスタートであったが、6月から学校が再開し子供たちがうれしそうに準備をしている姿をみて、改めて学校のありがたさを感じます。
○新型コロナの感染を気にしているが、新しい生活様式を守りながら楽しく通っている。
○登校が楽しみ。毎日、自分から早起きしている。意欲的に学校生活を過ごしている。
○友達に会えることがうれしそうで、毎日楽しく通えている。
○課題のプリントがたくさんあった時は、元気がなかったが、学校に行くようになってから、宿題も頑張って取り組んでいる。
○様々な行事がなくなってしまい、寂しそうな様子もいられたが、友達と過ごす中でできることを頑張ろうという姿が見られた。

【教職員について】

○コロナ禍で学校行事等子供たちのために、様々な工夫をしていただきありがたかった。
○学校全体の先生方の雰囲気落ち着いている。
○友達関係で困ったときなど、丁寧に対応してもらっていると感じる。
○教員からの挨拶もあり、学校の雰囲気が明るく感じる。
○休んだ時の、電話連絡がありがたかった。コロナ禍なので不安な点もあったので。

【学習指導について】

○少人数指導の先生と担任の先生が、クラスを分けての指導を行ってくれたことで算数への興味関心が増え、自信もついてきた。
○タブレットを使った学習のおかげで、パソコンの操作の基礎が身についてきているのを感じる。

【生徒・生活指導について】

○特段の記述なし

【情報公開・連絡・連携について】

○学校・PTAと地域の多くの方々に見守られていることがわかり、安心して通わせている。
○地域や保護者からの意見を柔軟に受け入れ、学び等に生かしていると感じる。この姿勢を継続してほしい。
○コロナ禍であっても、子供たちの朝の交通当番を定期的に保護者の方々が行ってくれたことがありがたかった。
○保護者が気軽に相談できるようになってきていると思う。

【その他】

○特段の記述なし

課題(意見・要望・感想等)

【子供の状況について】

●学習習慣が身につけていないように感じる。
●コロナ禍で校外学習等の活動が制限されてしまい、残念ではあったがもう少し早い対応をしてほしかった。
●学校において、子供が不安を感じた時に相談できる居場所を作っていただいで助かった。今後も、保護者・子供たちに周知していただけるとありがたい。

【教職員について】

●教員の資質向上を進めてほしい。
●子供の模範となり、信頼される教員であってほしい。
●言葉遣いが荒い先生がいて残念に思う。美しい日本語を使い、教えてほしい。
●特別支援教育への理解を深めるとともに、情報を共有し共通の対応をしてほしい。
※他校の取り組み方との違いを感じる。
●授業参観の学習内容への工夫が感じられなかった。

【学習指導について】

●わかりやすい授業・板書等を工夫してほしい
●通学路の危険な場所について指導してほしい
●学校行事を生かした子供たち活躍の場に期待する。
●学習用具を準備することや宿題に取り組むことなど、学習習慣定着のために、家庭でできることを教えてほしい。
●宿題への取り組み方への子供のとらえ方が、クラスや学年によって違うように感じる。

【生徒・生活指導について】

●放課後の子供たちの近隣での遊び方の決まりが乱れてきているように感じる。
●子供が学校の先生が気軽に相談できる環境を整えてほしい。
●入学してから、子供の友達関係がわからず、不安なときがあった。

【情報公開・連絡・連携】

●コロナ禍で様々な制限のある中での授業参観は大変であったと思います。実施方法を工夫していただいたのもありがたかったですが、もう少しじっくり参観する時間も欲しかった。
※入れ替えがはっきりせず、決まった時間以上の参観者がうかがえた。
●ホームページが見づらくて困っている。スマートフォンでもスムーズに閲覧できるとよい。
●コロナ禍で、懇談会がなかったので、保護者間の情報交換や共有ができず、不安であった。学級だより等でお知らせいただけたらありがたい。
●紙ベースの連絡等が多かったので提出を忘れてしまうことがあった。PDFやメール等での通知があると助かる。

【環境について】

●施設設備の改修を進めてほしい。(体育館トイレ・正門から昇降口・運動場のぬかるみ)
●エアコンの設置してほしい。(情緒・特別教室)
●清掃が行き届いていないと感じる。用具等の整備や整頓を進めてほしい。
●学校周りの落葉や植栽、雑草等の手入れを進めてほしい。
●校庭等の草刈りや整備等を進めるにあたり、地域との連携や全児童での取り組みがあってもよい。
●校庭に駐車している車は、常駐なのか。(子供の安全の観点から不安)
●子供の登校後の東門の施錠を安全上しっかりと行ったほうが良いと感じる。

【その他】

●コロナ禍にあって、私たちの生活を支えてくれている方々へ子供たちから感謝を伝えられる取り組みがあるとよかった。
●PTA活動の取り組みの精選はできないか。(三中学区青連協 との兼ね合い)

意見等に係るコメント

【子供の状況について】

◇引き続き、読む・書く・聞く・話す等の言葉によるコミュニケーションの指導を充実させます。一人一人の言葉の力を高め、個にかかわる機会を大切にしながら、学習習慣の定着を図ります。
◇今後もコロナ禍での制限が予想されるので、早めの判断、対応を心がけてまいります。
◇不安を抱えている子供たちのために、相談場所を学校だより等で周知してまいります。

【教職員について】

◇教職員の行動や言動については、児童の範となるよう、教育公務員としての良識と見識を深める研修に今後も取り組んでいきます。
◇昨年同様、児童の実情を汲み取り、心に響く言動をとるなかで、教育的な指導・助言や叱責を行うことは、教員の専門性によるものと考えています。こうした専門性を高めるために、特別支援教育や人権教育等を核にしたOJTを充実させていきます。
◇特別支援教育への取り組み内容については、他校と情報共有しながら、個に応じた適切な支援ができるよう個別支援計画のもとに保護者と連携した指導にあたってまいります。
◇授業参観に限らず、子供たちの実態に合わせた指導の工夫を心がけていきます。

【学習指導について】

◇子供達一人一人が「わかった」「できた」という実感をもち、個の自信につながるよう、教員相互の授業参観も取り入れながら、個々の課題を明らかにし、授業力の向上に取り組んでいきます。
◇学級指導等において、定期的に安全教育を取り扱い、子供たちの意識向上を図っていきます。
◇学校行事を進めるにあたっては、厳しい制約もある中ですが、実施方法に工夫を凝らしながら、子供たちが校内に限ら、地域でも活躍できるように努力してまいります。
◇宿題や家庭学習については、保護者の方々の中に様々な考えがあります。学校では、家庭における自主学習の習慣化を第一の目的と考えていますので、家に持ち帰り、家庭生活の中の学習時間で計画的に実行できるよう伝えていきます。

【生徒・生活指導について】

◇学期始めと終わりに生徒指導主任からの話や担任からの指導をしているところですが、PTAと協力しパトロールを強化しながら、放課後の遊び方への指導を徹底してまいります。
◇コロナ禍で、今後も、保護者同士が顔を合わせての情報交換の場が制限されることも考えられますので、学校側から子供たちの様子について、情報配信できるよう検討してまいります。

【情報公開・連絡・連携】

◇授業参観や懇談会の内容や実施方法については職員間で検討したのち、各学年でさらに検討し、充実を図っていきます。
◇授業改善に向けては、日常の子供との授業が最も重要です。一方で他者の授業から学ぶ研修も大切だと考えています。学んだことを自身の授業に還元していきながら、教員の資質向上を引き続き図ってまいります。
◇ホームページの内容等につきましては、いただいた御意見を反映していけるように改善していくよう努力いたします。
◇保護者や地域へのお便り等につきましては、今現在、ホームページ等への掲載方法も検討しているところです。実施となりましたら、改めて保護者の皆さんへお伝えいたします。

【環境について】

◇体育館トイレの改善、校内の道路、運動場の舗装については、市へ要望しているところです。
◇エアコンの未設置の教室等への設置につきましては、教育委員会へ報告し検討していただいています。
◇児童数や職員数が少ない中で、環境整備に充分手が届いていない現状は承知しています。授業時数が増加することもあり、環境整備にかける人や時間を捻出することが厳しくなっています。コロナ禍ということもあり、なかなか実施に至っておりませんが、地域や保護者の方と協力できる方法を検討してまいります。
◇運動場の車の駐車状況につきましては、市と習志野特別支援学校と話し合ってまいります。
◇東門の施錠につきましては、児童の登校の様子を考慮しながら、安全面から施錠の方法について考えてまいります。